

平成 26 年度 第 1 回 松山市子ども・子育て会議 全体会 会議録

1. 日時

平成 26 年 5 月 14 日（水）10:00～10:50

2. 場所

松山市保健所・消防合同庁舎 6 階 防災大会議室

3. 当日の出席者等

(1) 出席委員（19 名）

相原真亜沙、上岡周介、角田敏郎、加納飛鳥、亀崎美沙子、後藤陽三、佐藤敦子、敷村一元、仙波亜紀、恒吉和徳、二宮一朗、堀田真奈、三浦和尚、村上出、森公夫、山本良子、吉田可奈子、吉野内悦子、吉松靖文（五十音順、敬称略）

(2) 事務局

唐崎子ども・子育て担当部長、山岡子ども・子育て担当企画官及び事業関係担当課等長並びに担当者

4. 傍聴の可否

可（傍聴者 0 名）

5. 会議次第

(1) 開会

(2) 委員紹介

(3) 事務局職員紹介

(4) 報告事項

- ①平成 25 年度第 3 回松山市子ども・子育て会議における意見・提案事項等について
- ②ニーズ調査に基づく量の見込みについて
- ③国の検討状況及び各種基準等の条例制定状況について
- ④幼保連携型認定こども園の認可に関する合議体の設置について

(5) 確認事項

- ①松山市子ども・子育て会議 部会の進め方について

(6) 部会委員指名

(7) その他

- ①連絡事項等

(8) 閉会

6. 配布資料

- ・会議次第
- ・配席図
- ・委員名簿

- ・資料 1 ニーズ調査に基づく量の見込みについて
- ・資料 2 国の検討状況及び各種基準等の条例制定状況について

- ・資料3 幼保連携型認定こども園の認可に関する合議体の設置について
- ・資料4 松山市子ども・子育て会議 部会の進め方について
- ・資料5 松山市子ども・子育て会議 部会委員の指名について
- ・参考資料1 パブリックコメント実施の条例（案）
- ・参考資料2 今後のスケジュールイメージ

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、ただ今から、平成 26 年度第 1 回松山市子ども・子育て会議を開会させていただきます。

本日の会議につきましては、委員総数 20 名のうち、19 名のご出席をいただいております。過半数に達しておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行をさせていただきます。

まず、開会にあたりまして、松山市保健福祉部子ども・子育て担当部長の唐崎より、ご挨拶を申し上げます。

～唐崎担当部長挨拶～

・事務局

本来であれば、三浦会長に進行をお願いするところですが、新年度に入って最初の会議ですので、誠に僭越ではございますが、次第 3 “事務局職員紹介” までの間、引き続き、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

2. 委員紹介

・事務局

本会議の委員の皆様の任期は、平成 28 年 3 月 31 日までとなっております。昨年度から引き続きご就任いただいておりますが、高杉委員が平成 26 年 3 月 31 日をもって辞職され、後任として松山東雲短期大学講師の亀崎美沙子様が委員に就任されましたのでご報告いたします。

また、本日は新年度最初の会議ですので、お手元の名簿の順に改めて委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

～五十音順にて委員紹介～

3. 事務局職員紹介

・事務局

次に次第 3 “事務局職員” を紹介させていただきます。

～事務局職員紹介～

4. 報告事項

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、これより先は、三浦会長に進行をお願いいたします。三浦会長、よろしくお願いいたします。

・三浦会長

先だって新聞ニュースで、2040年予測の出産・育児世代の女性の数が30%も50%も減るといふものが出ていましたし、今日には日本の人口1億人を維持したいというようなこともありました。いわばこうした、大きな流れの中に、この会は位置づけられていると思っております。そういう意味でも、大変であり重要な会でもあると認識しています。みなさんよろしくお願いいたします。

本日は、この全体会の後に、2つの部会に分かれて審議していただく予定ですのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

全体会では、審議事項はなく、事務局からの報告事項や確認事項の説明となっておりますので、内容についてご質問等はたくさん出していただければと思いますが、部会での審議時間を長く取ればと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

①平成25年度第3回松山市子ども・子育て会議における意見・提案事項等について

・三浦会長

それでは、まずは、昨年度第3回目の会議において、委員の皆様からの御意見・御提案事項について、説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、前回会議における各委員の意見・提案事項について説明～

・三浦会長

シンポジウムにつきましては、配布資料の最後の「机上配布資料」に基づいて、後ほど敷村委員からご説明いただけたらと思います。

今の説明について、何かご質問などがありましたらどうぞ。

後からお気づきになった点についてご発言いただいてもかましませんので。

(各委員からの意見なし)

②ニーズ調査に基づく量の見込みについて

・三浦会長

次のニーズ調査に基づく量の見込みについて事務局よりご説明いただきます。

・事務局

～事務局から、資料1に基づき量の見込みについて報告～

・三浦会長

ニーズ調査ですが、こういう調査は「あった方がよい」というレベルで答えたりするため、それが悪いことではないですが、実際に実行できるかということはまた別なので、現状と違う非常

に大きな数字が出てくることは当然でございます。このニーズ調査の数を真に受けて量の見込みを設定したら、実際の利用は極端に少なかったということも当然起こるわけです。現状をどう変えていくかということの参考資料、子ども・子育て支援、あるいは女性の就労支援という観点から、どう現状を変えていくかという方向性のための資料とご理解いただけたらと思います。今後、部会でこの数字をどう読み解いて、実際の施策に反映させていくかという方向で考えていただく、数値であるとうご理解ください。

調査結果ということですので、また次の部会等での具体的な議論の中で見ていくということにさせていただきます。

(各委員からの意見なし)

③国の検討状況及び各種基準等の条例制定状況について

・三浦会長

次の報告事項ですが、国の検討状況及び各種基準等の条例制定状況について、事務局より説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 2 に基づき国の検討状況及び各種基準等の条例制定状況について報告～

・三浦会長

国の作業が、少しずつ後へずれているようですが、予定としては平成 27 年度スタートというところは確定で変わっていないため、タイトなスケジュールの中で動いております。

この会議では、国の政省令や松山市の条例についての審議の場ではございませんので、こういう大きな動きの中で、私たちが動いていきますというレベルでご理解いただきたいと思います。

最後にご説明がありましたように、市の条例については、現在パブリックコメントを求めていますので、ご関心の向きは、参考資料 1 も見ていただいて、一市民としてご意見を届けていただければと思います。何かご質問があればお願いします。

(各委員からの意見なし)

④幼保連携型認定こども園の認可に関する合議体の設置について

・三浦会長

次の報告事項ですが、幼保連携型認定こども園の認可に関する合議体の設置について、事務局より説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、資料 3 に基づき幼保連携型認定こども園の認可に関する合議体の設置について報告～

・三浦会長

幼保連携型認定こども園の認可につきましては、一括して同じ合議体で行うということですが、明日開催される社会福祉審議会で、資料 3 の 3 頁にあります組織体系の中で決定される予定でございます

私たちの子ども・子育て会議が組織として直接関わるということではないですが、こういう形で今から進んでいくという報告です。

(各委員からの意見なし)

5. 確認事項

①松山市子ども・子育て会議 部会の進め方について

・三浦会長

確認ということで、資料 4 でございます。これから部会に分かれて審議するにあたりまして、部会の役割、進め方等について、事務局から確認のご説明をいただきます。

・事務局

～事務局から、資料 4 に基づき部会の進め方について説明～

・三浦会長

教育・保育部会と地域子育て部会の 2 つに分かれてこれから審議していくことになりますが、それぞれの部会での内容というのは、相当内容的に異なっている部分があると思います。そのため、それぞれの部会の決定を全体の決定にさせていただくということで、前回ご了解いただいています。それでは、確認事項ということで、これで終了させていただきます。

6. 部会委員指名

・三浦会長

部会委員の構成について、事務局に資料を作っておいてありますので、配布をお願いします。

資料配布の間に資料 5 ですが、それぞれの部会で各 10 名を会長が指名すること、部会長等も会長指名ということに条例上定められていますので、これに基づき、それぞれ委員の専門性などを考えながら 10 名ずつに分けさせていただきました。

・三浦会長

教育・保育部会は名簿にありますように、相原委員、上岡委員、亀崎委員、後藤委員、敷村委員、二宮委員、村上委員、森委員、吉田委員、それに私の 10 名で構成させていただきます。主に幼稚園・保育所といった事業関係の方を中心に選ばせていただいております。こちらの部会長は僭越ですが私がさせていただきます。副部会長は敷村委員をお願いいたします。

地域子育て部会の委員については、地域の子ども・子育て支援、または学校関係というところの方をお願いしております。角田委員、加納委員、佐藤委員、仙波委員、恒吉委員、堀田委員、宮内委員、山本委員、吉野内委員、吉松委員、以上 10 名の方をお願いしたいと思います。こちらは部会長を恒吉委員、副部会長は佐藤委員をお願いします。

・三浦会長

各部会とも短い時間で審議していただかなければならない状況と思いますが、決めるべき事項がたくさんありますので、皆さんから意見をたくさん頂戴しながら、円滑に審議を進めていただ

ければありがたいと思っております。

委員の指名は以上ですが、皆さまから何かありますか。

(各委員からの意見なし)

・三浦会長

全体会の議事等につきましては、こちらで準備しているものはここまでです。全体を通してなにかございましょうか。

(各委員からの意見なし)

7. その他

・三浦会長

事務局からの連絡事項の前に、前回会議でご案内いただいたシンポジウムにつきまして、敷村委員からご紹介いただきます。

・敷村委員

今週土曜日の5月17日に、子ども・子育て支援新制度のシンポジウムを開催する運びとなりました。いろいろと関係機関の皆さまにはご協力いただきありがとうございます。

現在の参加申し込み状況ですが、幼稚園・保育所の関係者を合わせて250名、一般の方で直接申し込まれた方が30名程度です。300名程度までと想定していたので、会議としては盛大に行えるのではないかと考えています。また、託児のほうも2名の申し込みがありました。子育て中の保護者の方もご参加いただける運びとなっております。

当日は、内閣府から角田（つのだ）リサ少子化対策担当企画官に来ていただきます。国が公表している新制度に関する資料「すくすくジャパン」を基にしたものを送っていただきましたので、印刷してお配りしようと考えています。

当日は角田さんにパワーポイントでご説明していただき、そのあとパネルディスカッションで、この会の委員にもなられている堀田さんにコーディネーターをお願いしています。

シンポジウムで何かを決めようというのではなくて、これからの方向性を見ていけるような場になればと思っています。

まだ席に余裕がありますので、時間がありましたらこの会議にご参加の皆さまにも来ていただければと思っています。

・三浦会長

貴重な機会ですので、たくさんの方に来ていただければと思います。

①連絡事項

・事務局

事務局から、お知らせいたします。今後の会議及び部会の開催スケジュールについてです。

参考資料2にありますとおり、9月までの間は、主に部会に分かれてご審議していただくこととなります。2つの部会の開催については、進捗状況等に応じて、それぞれで開催日時が異なる場合もありますが、全体会と同様に、事務局の方から事前に日程調整を行ったうえで、開催した

いと思います。また、全体会を行う場合には、改めてご案内を差し上げますので、よろしくお願
いいたします。

・三浦会長

それでは、以上をもちまして、本日の全体会の議事は終了したいと思います。事務局にお返し
します。

8. 閉会

・事務局

以上をもちまして、「平成 26 年度第 1 回松山市子ども・子育て会議」を閉会いたします。

委員の皆様におかれましては、円滑な議事の進行にご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

本日は、ご出席いただき、誠にありがとうございました。

(了)